

羽ばたけ国際人 2017  
外国人留学生による日本語スピーチコンテスト  
外国人留学生による日本語KARAOKE大会(決)  
一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会 横浜支部



【外国人留学生による日本語スピーチコンテスト】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 31 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-3826  
ki-somu@city.yokohama.jp

## 外国人留学生のスピーチコンテストが開催されました

1/25(水)に神奈川県立青少年センターにて、外国人留学生のスピーチコンテストが開催され、県内11の専門学校から、9つの国・地域の留学生18名が出場しました。

留学生は日頃、日本の文化や生活習慣等に直接触れて感じたことや、直面する課題や主張、将来の夢などを含め、様々な事柄を、日本語でスピーチしました。

コンテストを後援した横浜市からは国際局長が審査委員長として出席し、コンテストで見事1位に選ばれた中国出身の董嘉琪（トウカキ）さんに横浜市長賞が授与されました。

スピーチを聴いた市民の方達にとって、多様な国の様々な価値観や共通する考え方にも触れることで、自国の文化を再認識すると同時に、他国の文化への理解が深まる機会となりました。



(国際局長から横浜市長賞の授与)

## JCM 案件形成可能性調査の最終ワークショップに出席しました

温室効果ガスの削減を目的とした、環境省 JCM（二国間クレジット制度）案件形成調査の最終ワークショップがインドネシアのバタムで開催され、国際局職員が参加しました。

ワークショップでは、省エネ技術を有する市内中小企業のアイフォーク東京株式会社（神奈川区）と株式会社ファインテック（緑区）が各々の調査成果を、本市と都市間協力を進めるバタム市および現地のインフラを所管するBIFZA（バタムフリーズン監督庁）に報告し、来年度の事業化に向けた協議を行いました。

また、上記市内企業を含めた本邦企業6社が、バタムの下水処理場や廃棄物最終処分地等を調査し、新たな案件発掘を行いました。

バタム市及び BIFZA 長官の表敬では、更なる都市間協力や幅広いインフラ分野での連携強化について積極的な意向が示されました。



## 環境省主催のセミナーで横浜市の取組を発信しました

1/23（月）に開催された環境省主催の都市間連携セミナーに、国際局、港湾局職員が参加しました。

環境省では JCM（二国間クレジット制度）を推進しており、横浜市は Y-PORT 事業においてこの制度を活用して市内企業の海外展開支援をしています。

セミナーでは、Y-PORT 事業の取組、バンコク港などのタイの港湾での低炭素化・スマート化を支援する取組みについて国際局と港湾局が発表しました。横浜市は、タイ港湾庁とパートナーシップ協定を締結しており、横浜港埠頭株式会社と連携してこうした技術協力にも貢献しています。

国内外から多くの自治体関係者が参加する中で、横浜市は国際事業を専門とする国際局、事業局である港湾局が連携し、一体となって取り組んでいることについて評価する声が寄せられました。

